

令和6年9月定例教育委員会会議録

令和6年塩尻市教育委員会9月定例教育委員会が、令和6年9月26日、午後1時30分、塩尻総合文化センター2階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 10月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について

4 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委員	徳 武 あ ゆ 子	委員	甕
委員	八 島 思 保		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	百 瀬 一 典	交流文化部長	胡 桃 慶 三
こども教育部次長 (こども未来課長)	竹 中 康 成	交流文化部次長 (社会教育スポーツ課長)	上 條 史 生
学校教育課長	上 條 崇	文化財課長	古 畑 比 出 夫
教育施設課長	五 味 克 敏	平出博物館長	小 松 学
保育課長	塩 原 清 彦	市民交流センター 長 (図書館長)	矢 澤 昭 義
主任学校教育指導 員	村 上 啓		

○ 事務局出席者

教育企画係長	佐 藤 智 樹
--------	---------

1 開会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。9月上旬でしたが、晴れ渡った青空の下、公務で麻績村へ出かけてきました。田んぼには刈り取られた稲がずっと一列にかけられていて、天日干しを

している姿がありました。手間暇はかかりますけれど、自然乾燥したお米はおいしいなど私も思っています。帰り道、塩尻市に戻ると、片丘地区ですが、田園地区のところで、はぜかけの風景もあったり、ブドウ棚には、大きく成長したブドウの房が垂れ下がっている風景がありました。ここにきて、ようやく朝夕の涼しい風を感じまして、過ごしやすくなってきたのかなと、そんな秋を迎えました。

ただいまから9月定例教育委員会を開会いたします。皆さん、よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 次第に従いまして、2番、前回会議録の承認について事務局からお願いいたします。

佐藤教育企画係長 前回、8月定例教育委員会会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名いただきますのでよろしくお願いいたします。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 3番の教育長報告に入ります。私、3点御報告いたします。

1点目。秋の全国交通安全運動が9月21日から30日まで行われております。朝の登校の風景をあちこちで見えますが、交通ルールを遵守して、落ち着いて歩いていく児童の姿、自転車通学をしている生徒の姿、また、市内の至るところで子どもたちの姿を見守ってくださる地域の皆様、先生方の姿がありました。

全国重点は3つあります。反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止が1番目。2つ目は、昨年もそうでしたが、夕暮れどき以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶。3つ目、自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底であります。

調べましたところ、交通事故の死者数というのは、特に夜間における歩行者の交通事故による死者数が多くなっています。このため、歩行者には反射材用品等の着用とともに、安全な横断の方法を実践するよう促していくことが重要だと思います。

さらに、交通事故による幼児・児童の死者・重傷者数は、歩行中の割合がとて高く、児童の死者・重傷者の通行目的では、登下校が全体の4割を占めているということです。依然として道路においての子どもたちは危険にさらされているという状況下にあります。

9月18日の夕方ですが、交通安全標語コンクール表彰が市役所庁議室にて行われて、最優秀賞、優秀賞を受賞した5名の6年生が保護者と一緒に集まりました。今年度の小学校6年生の応募者総数は397人ということで、6年生全体の8割と、とても多かったわけです。今年度から、自分の端末から直接、塩尻市建設部都市計画課へ自由応募で行う形が増えたということです。今年度の最優秀賞1点、優秀賞4点を紹介いたします。

最優秀賞です。「止まってくれて ありがとう 長野県停止度ナンバーワン」。優秀賞4点です。「反射板 命を守る 1つの光」。「ヘルメット 少しの距離でも着用を 行動一つで守れた命」。3点目、「周り見て スマホじゃないよ 赤信号」。4点目です。「確認して守る

う 交通安全の『ま』『み』『む』『め』『も』という標語です。

いかがだったでしょうか。塩尻警察署の神林署長からは、今年の交通安全標語はとても分かりやすいメッセージが伝わってきました。特に、最後に紹介した「まみむめも」は何だろうと思って署長も検索したそうです。いろいろな県では、お年寄りの関係の「まみむめも」だそうです。また調べてみてください。高齢者交通安全五則から取ってきたということで、神林署長は、分かりやすいメッセージだということと、もう1つ、子どもたちに伝えたのは、塩尻署管内は県内でも交通事故発生件数がとても多いところだということです。「皆さんが考えてくれたこの交通安全標語に出会って、交通安全についてしっかりと考えてほしいと思います。本日は受賞おめでとうございます」と挨拶をされ、子どもたちの作品を高く評価してくださいました。

2点目です。市内で一番古かった宗賀児童館が、宗賀小学校2階、空き教室棟に移転する工事が行われまして、10月中旬に開館いたします。8月20日ですが、私と百瀬部長で、夏休み中、工事現場を見学する機会がありました。ちょうど宗賀児童館に通っている子どもたちが、下條児童館長引率の下、工事現場監督から、どんな木を使うのかとか、壁だとか天井材だとか、部屋の様子等の説明を受けていました。

工事現場に入りますと、職人たちが電気配線、照明設置、石膏ボードの取付け、壁紙を貼る下地工事等を行っていました。工事現場を見た子どもたちは、新児童館完成後も、この日の記憶は刻まれるのではないかなということを感じました。

子どもたちは、宗賀小学校の児童玄関から児童館の階段を上って児童館玄関に移動します。新たにできる駐車場は、旧児童館があったところが駐車場になって、そこに車をとめた保護者の方は、宗賀中央保育園で園児を、そして児童館で児童を迎えられるという動線ができていて、よく考えられているなということを感じました。

私が現場に着いて一番驚いたのは、学校正面入り口に、すごく大きなボードで「ありがと宗賀児童館」というメッセージボードが掲げられていました。旧児童館になるのですけれども、最終利用の日まで、お世話になった児童館を大切に使おうという気持ちがじんわりと伝わってきました。

3点目です。中信地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が9月5日、夕方ですが、レザンホールの中ホールを会場に開催されました。以前も紹介しましたが、生徒生活体験発表会というのは、全国の定時制及び通信制の高等学校に学ぶ生徒が学校生活を通して感じ、学んだ貴重な体験を発表して、多くの人々に感動と励ましを与えることを目的としております。毎年行われている大会であります。全国の定時制通信制課程を置いている多くの学校がこれに参加しております。中信地区では、長野県木曾青峰高等学校定時制と長野県松本筑摩高等学校通信制等定時午前部、定時制・夜間部、池田工業高校定時制の中で、生徒8名が参加しました。

長野県の場合ですが、夏休み前後に各高校で校内の発表大会が行われて、その後、9月中・下旬に北信、中信、東信、南信の4地区で地区大会が行われます。そして10月中旬に、各地区から選ばれた生徒たちが一堂に会して県大会が行われます。今年度は駒ヶ根市で行われると言っていました。その中で最優秀受賞者は、11月に東京で全国大会に出場することになっています。

そして、定時制通信制の教育振興会というのが各学校に組織されていまして、県内の多く

の定時制通信制課程の高校に振興会があり、物心両面にわたって生徒を支援している方々がいて、毎年ですが、大会にも参加され、私の隣の席にずっと振興会の方と、今回いろいろお話をする機会がありました。

8名中1名の例ですが、定時制3年の男子生徒の発表を紹介いたします。

小中学校時代に体調を崩して休んだことがあった。中学校に入ると、クラスの仲間との距離がだんだん遠くなってしまった。そして、休みも多くなり、学校との距離も離れていった。中学3年生になり、高校入試に向け、自分なりにもどうにかしたいと思っていたとき、中学の担任の先生から、定時制という選択肢もあると紹介されたのがきっかけで、勉強も入試に向けた面接練習も頑張った。そして、夢がかなって高校に入学した。

そこには自分にぴったりの少人数の学級があって、最初はなかなか話せなかったが、次第に会話も弾み、男ばかりの5人組で京都旅行を計画し始めた。目標に向かってみんなが結集していった。コロナ禍で、中学校の修学旅行には行けなかったけれど、高校に入って、5人組で思い出に残る旅行ができた。

高校生活は充実している。昼間は父親の電気工事の仕事を手伝っている。エアコン設置工事に行ったとき、冷風が出てきた部屋にいた家の方から感謝の言葉が父親にあった。私も父親のうれしそうな顔を見て、やりがいのあるこの仕事の後継ぎをしたいと決めた。これから電気工事のたくさんの資格試験を受けていきたい。そして、いつも大切に対応してくれる、励ましてくれる高校の先生方にも感謝したい。

このようなお話でした。結構まとめてしまったので、少し変わっているところがあると思いますけれども。私は、この生徒、ほかの生徒たちもそうだったのですけれど、一步一步前を向いて、仲間との信頼関係というのは、とても若い頃は大事なかなと思いました。夢に向かって頑張っているこの男子高校生に私はいたく感動いたしました。

その後、発表後の休憩時間がありました。その男子生徒を見ていると、そこに5人くらいの男の生徒たちが集まってきました、本当に楽しそうに話していました。おそらく、一緒に京都旅行に行った仲間かなと思って見ていると、隣の席にいた定時制通信制の教育振興会の方から、「教育長、私、知っている生徒だ。中学校時代心配していた。定時制の高校に入って、父親と一緒に仕事を本当に頑張っていますよ。成長していて、私もうれしいです」というようなお話をいただきました。

今年も心に残る中信地区高等学校定時制通信制生徒生活体験の発表大会でありました。高校の先方、保護者、友人に助けられながら、人との比較ではなくて、自分らしく自分の道を切り開いていく体験発表の姿、まさに不登校とか進学で悩んでいる中学生もぜひ知ってほしいなと思ひまして、今日報告いたしました。

それでは、報告に関しまして、御質問とか御感想、実際に行かれたイベント等に参加されました意見等ありましたら、この後、委員の皆様からお願いしたいと思います。では、よろしくお祈いします。

碓井教育長職務代理者 教育長から冒頭、秋の交通安全運動についてのお話がありました。標語の「まみむめも」は、私、さっぱり見当がつきませんので、また後で教えていただければと思います。

今の時期、一日一日、日が短くなって、子どもの登下校、特に下校の安全が気になる季節になりました。例年、私は今頃になると思っているのですけれども、本当に夕暮れ時、危な

いので、くれぐれも気をつけていただきたいと思います。

それから、教育長のお話の中で、定時制通信制の体験発表会についてありましたけれども、これは県の関係だけで、私立の通信制のお子さんたちは来られているのでしょうか。

赤羽教育長 今まで見たことがないです。

碓井教育長職務代理者 通信制については、私立のお子さんがかかなり多いという現実があって、そのお子さんたちもどんなことを考えておられるのか、その辺もこういう場で、聞くことができればいいなと思いました。

それから、行事の関係ですけれども、私、9月22日に、ひらいで遺跡まつりに参加させていただきましたので、その感想を含めて少しお願いしたいと思います。当日、朝のうち、風雨が大変強くて、開催できるかなと心配したのですけれども、次第に天候が回復してきましたので、11時頃、会場へ出かけました。会場には、子ども連れのファミリーの方が多かったかなと思いますけれども、大勢の方が来場されていました。テントがたくさん張ってあって、そこにいろいろなブースがありましたけれども、その中央付近で大道芸のパフォーマンスをやっていて、私も多くの皆さんと共に、とても楽しく見させていただきました。

それから県内の考古博物館のブースも幾つか出ていて、黒曜石ミュージアムのブースでは、黒曜石のナイフの切れ味体験というのですか、そのようなことをやっていました。私も少し興味がありましたので見ていると、家族連れの方がその体験をしていました。まずお父さんが黒曜石のナイフで野菜のナスを切ると、すっと切れて、その切れ味に私も驚きましたけれども、お子さんがそれを見て、「僕もやる、僕もやる」と言って、何度も挑戦をしていました。

また、勾玉作りのブースには、知人がいましたので、話をしようと思って近づいて行ったのですけれども、次から次に体験希望者の方が来て、その方とあまり話もできない状況で、私としては少し残念でしたが、ブース内の机は勾玉作りに取り組む方々で埋まっていました。

キッチンカーも数多く出ていて、行列ができていたところもありました。当日はそんな状況でしたけれども、平出遺跡公園は広々していますし、こういうイベントは休日にお昼を挟んでファミリーで楽しむにはよい催しだなと思いました。

黒曜石のナイフ等は、主として石器時代から縄文時代ぐらいですか、その頃使われていたのでしょうか。勾玉作り等も含めて遺跡公園にふさわしい体験等ができて、参加された皆さんは良い学びができたのではないかなと感じました。できればこういう体験等は、天候にあまり左右されない場所でできればいいなと、新しい博物館を中心にできればいいなと思いました。

事務局で分かればですけれども、当日はどれぐらいの皆さんが来場をされたのか。また、協力会の方々がサポートされていたかと思えますけれども、協力会の方は何人ぐらいいらっしゃって、どのような協力をされているのか等について教えていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

赤羽教育長 その件に関しまして、よろしく申し上げます。

小松平出博物館長 ひらいで遺跡まつりにお越しいただきましてありがとうございます。今おっしゃられたように、当日、朝7時の段階で判断するというので、7時の段階では曇り空。それがその後、準備の段階になると大雨が降ってきまして、本当にどうしようかと思いましたが、挙行するというので行いました。その中で、10時のオープニングには青空が

広がったということで、ほっとしたところです。

委員おっしゃいました各遺跡の関係のブースですけれども、そちらのところで、長和町のところでは黒曜石のナイフを使った体験をやって、一万数千年前の旧石器時代からナイフは既に使われておりまして、特にナイフは旧石器、縄文時代の2つの時代に多く使われる道具になっております。

当日、ひらいで遺跡まつりですけれども、平出遺跡公園協力会、平出博物館友の会、平出遺跡協力サポートどんぐりの会という3つの団体が実行委員会を組織してやっているものになります。その中で一番大きなものは地元の平出区になりますけれども、平出区の区民を中心とした平出遺跡公園協力会、そちらのメンバーは60名ほどいます。あと、平出博物館友の会が20名くらい、どんぐりの会というところも恐らく20名くらいということで、そちらのメンバーで構成されているものになります。

特に平出遺跡公園協力会の皆さん、今回のイベントの中では平安汁の提供を行なっていただきました。勾玉作りを主にやったのは、平出公園サポートどんぐりの会の皆様ですけれども、その方々は、常日頃から平出遺跡公園で体験学習の補助ということで、小学校とか中学校の遠足が来たときとか、そういったときに体験の補助ということで火起こしをやったり、勾玉作りをしたりということ常日頃から行っております。ちなみに、ナイフで野菜を切るという体験などは、夏休みの期間とかゴールデンウィークの期間に、ガイダンス棟の中でも行っている体験にはなっております。

それ以外に、今回、平出遺跡公園協力会、平出区民を中心とした方々は駐車場係からはじまりまして、火起こしブースとか、そういったところを体験し、博物館友の会は、博物館ブースということで、缶バッチを作ったり、拓本をしたりという、そういった形でいろいろ割り振りをしている団体になります。

ですので、こちらのお祭りに関しては、市の職員も当然参加していただきましたけれども、主にその3つの団体の方々に本当に御尽力いただいて、何とか成し遂げられたということになっております。来場者数としては2,300人ということでカウントしております。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。今回のひらいで遺跡まつりについて、うちの隣に住んでいる娘夫婦が、雨で芝生がぬれている感じだったので行かなかったが、そうでなければ子どもを連れて行く予定だったと言っていました。朝から天気がよければ、もっとたくさんの方が来場されたのではないかと思います。

関連して、市内の博物館や文化財等について、私自身、市内で小中学校の教員をしていたこともあるので恥ずかしい限りなのですが、教育委員をさせていただいてから知った施設も結構あります。ぜひ上手に発信等していただいて、市民の皆様にも、今回のように楽しみながら歴史や文化財等を知っていただける取組を進めていただければと思います。

また教育センターでも、夏休みの教員研修として市内巡り等をされているかと思っておりますけれども、学校の先生方にも、市内の博物館や文化財等を知っていただく取組の充実を一層図っていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

赤羽教育長 ありがとうございます。

徳武委員 先ほどから交通安全週間のお話がありましたけれども、その件でお願いしたいと思っております。新聞では、ヘルメットの着用率が長野県は高いという話が載っていましたが、先日、私が車を運転していたときに、小学生がかぶらないで乗っている姿を見かけました。

二、三人でワーツと言いながら、ヘルメットなしで走っていたので危ないと思って。小学生は大抵の子はかぶっているのですが、逆に目立ってしまって、そこは再度学校側からも子どもだけでなく、保護者にも願いがあってもいいかなと感じました。

それから、安全協会の方の通学の時間の見守りについてです。私も今年、地区の安全協会の役員をやっているのですが、前回の交通安全運動の時に立たせていただいたのですが、立つ時間帯、私も何時まででいいですよと言われたのですが、実際その後から来るお子さんが何人かいたという経験をしまして、見守りの時間帯をもう少し臨機応変にできたらいいなと感じました。もちろん皆さん仕事前に来ているので、なかなか難しいことはあるのですが、子どもがいない時間に立っているよりは、むしろ来ている時間に立ったほうが、見守られていると子どもも思いますし、そういう点がもう少し何かうまい具体的な対策があったらいいかなと感じております。

もう1つ別件なのですが、夏休みの先生たちの研修会、先月行きましたがまだ報告できていなかったのですが、私は人権教育に行ってきましたので、その報告をさせていただきたいと思っております。中信教育事務所の先生が見えまして、今学校で考えたい人権教育というテーマで、この研修を受けました。学校ではこんな人権教育をやっていると例を挙げて紹介がありました。また、長野県においては人権教育、塩尻市は特に人権教育に力を入れているのだということを先生がおっしゃってまして、そう言われてみれば確かに、公民館でも毎年人権教育が必ずありますし、きちんと研修会が行われているというのは常日頃感じております。

その中で、人権感覚について見つめ直して見ましょうというところが、私は一番気になりまして、自分もそうなのですが、ステレオタイプ、無意識に固定化して見てしまう心の仕組み、それからアンコンシャス・バイアス、いわゆる無意識の偏見、この2点がどうしても私たち世代や上の世代は根づいてしまっているなということを感じております。

このアンコンシャス・バイアスに関しては、先日、私の母が、「あの国の人は」みたいなことを言ったことがあったのですが、それを聞いていた私の息子がすぐに、「おばあちゃん、それは差別だよ」と言ったのです。だから、逆に子どものほうがきちんと人権教育がされていて、私たち世代や、より上の年代ですとか、そういう人のほうが、むしろ人権教育ができていないのではないかなと感じました。息子の言葉を聞いて、子ども達はきちんと教育されているなというのをすごく感じて、学校での人権教育がしっかり浸透しているのを感じた瞬間でもありました。

ですので、この地域住民を対象にした公民館活動での人権教育は、若干形骸化している部分もあるかと思うのですが、塩尻市は人権教育が盛んだということで、今後もぜひ力を入れて、人権教育に取り組んでいってもらいたいとすごく感じた次第です。

赤羽教育長 一言いいですか。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 公民館での人権教育のお話がありましたけれども、分館単位で行われていまして、必要経費に補助を出して行っています。その前段として、地区ごとに人権推進会議を行いまして、そこには私どもの職員、私も参加しますが、あとは中信教育事務所の指導主事も参加していただいて、県の人権教育の重点的な事項でしたり、今お話にありましたような人権感覚ですとか、長野県では重点的に取り組んでいる項目が2つありまして、同和教育、部落差別の解消と外国人に対する差別の解消というのを、多くある人権課題の中で重点的に取り組むという方針がございます。

分館での学習会のお話がありましたけれども、市内全体を見渡しますと、昨年度実績で、65分館中45分館が開催、20分館は未開催。中では、5分館ほどはチラシの全戸配布で替えている状況です。実際に分館に人が集まったの学習会は、県からの指導主事呼んでの講演会ですとか、あるいは事務局で持っている人権関係のDVDを見る会ですとか、あるいは各地区にいます人権教育指導員の方による講話ですとか、あるいは宗教者、僧侶の方ですとか、そういう方の講話など様々、地区によって工夫して行われています。

それが塩尻市では重点的に行われているという評価もありますけれども、全体での参加人数は3,500人ほどですので、まだまだ一部の市民の参加にとどまっていますし、人権教育というと何か難しいイメージでしたり、身近なことに感じていない市民もいて、日常生活の中で知らないうちに偏見を持ち差別をしているという事例がありますので、今後もより効果があがるような人権教育を進めていきたいと考えております。

今年度から人権政策について、私ども社会教育スポーツ課と企画課でも担当することになっておりますので、政策的な位置づけも強まったと考えておりますので、そんな中で連携を取りながら進めていきたいと考えております。

赤羽教育長 ありがとうございます。交通安全について

上條学校教育課長 小学生のヘルメットの関係になりますが、各学校では交通安全教室などを行っている中でヘルメットの着用等の話を都度させていただいておりますが、今回のように平日、休日にヘルメットを被らないケースもあるようですので、改めて校長会等で周知を努めていきたいと考えております。

徳武委員 ありがとうございます。人権学習については、私も何度か出たことがあるのですが、どうしても地区の役員の人数だけ集まるようなことが多いので、いろいろな人に聞いてもらえればいかなどということは常に感じていまして、私の地区では、お坊さんが講話してくださったり、あとは人権のDVDも見ましたし、そんなことをやっていますので、また引き続きお願いしたいと思います。

赤羽教育長 ちなみに、ノーヘル为学校はどこですか。

徳武委員 私の家の学区内です。

赤羽教育長 ありがとうございます。

八島委員 徳武委員の人権のお話でしたが、私が公民館長を担っていた頃は、吉田地区では、既存の人権学習とは少々変更した形にチャレンジさせていただいたことがあります。松本市の楽団ケ・セラという就労継続支援B型事業所がありますが、その団体と丘中学校の吹奏楽部をコラボレーションさせたコンサートを2年間連続に開催させていただきました。吹奏楽部をタイアップさせることで、大勢の保護者を集めることができ、コンサートの合間や前座で、市から派遣された人権擁護委員より講座をしていただきました。工夫をしながら区民を引き寄せることへつながることもあります。

私の報告は2点ですが、夏休みの終盤に吉田小学校で行われた学校教育委員会に出席をさせていただきました。子どもの肥満や運動の実態を共通理解し、それぞれの立場でできそうなことを考え合うことを目的に掲げて研修が行われていました。過去5年間のデータより肥満度の推移は増加傾向にあり、肥満度20から30%の中度肥満の増加率は高く、30%以上の高度肥満は軽度増加である結果でした。

誘因は、外活動の減少や登下校の送迎などが考えられると報告がありました。問題点は、

30%以上の高度肥満でなければ、なかなか医療機関につなぐことができないということです。20 から 30%の中度肥満であると、単純性肥満と診断されてしまい、無処置になることが課題だと発表されました。

今後、20 から 30%の中度肥満へのアクションをどう考えていくのか、筋肉や骨の基礎をつくる時期でもあり、子どもたちの成長や将来への健康にも及ぼす課題であります。ロコモティブシンドロームが若年化している社会問題にも、結果的にはつながっていくのではないかと話されました。

また、栄養士より、牛乳の残菜が増えている報告がありました。カルシウムの充足率は、給食では必要量 350 グラムであり、牛乳を未摂取の場合は 79 グラムに減少してしまうようです。

運動の実態報告では、昨年度のスポーツテストの結果からの分析であり、吉田小学校では、全国平均より上回っているが、個人差が大きく、意図的に運動時間を確保していかなければ、自主性での確保は難しいであろうと報告がありました。

その後に行われた情報交換会では、それぞれ教員の立場で、できそうなことにつき意見交換をされました。幾つかご紹介させていただきます。子どもたちの様子では、残菜ゼロの目標は良いが、食べる子が食べるだけで、個人差大きく、食べない子は食わず、個別的な対応にはなっていない。残菜をゼロにする目標だけがクリアされているだけである。

また他には、1年生は、お米は食べるが、麺類の苦手が多い。自閉症傾向が強い子は、7割は肥満傾向にあり、摂取カロリーの制限が必要である。集中して運動することは難しく、フォローも必要である。また不安が強い子どもで、食べることによって安心すると子もいる。

他には、学校での給食時間が短いと感じる。この部分は、改善策が比較的考えやすいのではないかと感じました。早食いであることも多く、摂取行動についても感想がありました。

運動に関しましては、安全面から遊ぶ経験が少ない。低学年は誘わないとできないため、きっかけづくりが必要である。また、ボールを外で投げる経験が少なく、投げ方を知らない子どもが多くなってきた。

長期休みはバランスが崩れてしまう。休み明けには、子どもを見ると家庭が見えてくる。家庭でのコントロールは難しいので、せめて学校では、食も運動も確保していきたい。保護者同士の交流も減っている。情報交換が家庭でできていないなど意見や感想がありました。

解決策としては、給食の時間を十分確保する工夫が必要ではないか。集団で遊びを伝える、集団で外に行く。学校で経験できることを増やしていく。クラブ活動など、定期的に運動できるようなシステムをつくる。保護者にも、将来を見据えた呼びかけを行う。送迎の理解は家庭の事情もあり、難しいのではないかと感じました。保護者同士の協力合いを求める。安全に遊べる場の提供。夏休みのラジオ体操の復活と継続。子どもたち自身でも考える時間をつくる。万歩計など、運動の視覚化を取り入れたらどうかなど、アイデアや意見が出されました。

私の感想としては、単純性肥満へのアプローチは、誘因である給食や運動のみではなく、その根底にある課題が幾つかあるのではないかと感じました。課題の蓄積や連鎖であり、原因は複雑化していると感じます。外遊び、スポーツ、ゲーム、安全の確保や、給食、残菜、偏食、時間、集団、多様性や発達の課題、家庭問題、PTAの問題、貧困、部活動の地域移行など、様々な社会情勢の変化が、子どもの成長発達に直結しているのだなと感じました。大人が未来に対する責任をしっかりと考えて取り組んでいかなければならないと切に感じ

させられました。

2点目です。以前報告させていただきました、吉田小のぼかぼか教室についてです。現在、地域のボランティアにも協力を得ながら、時短勤務の先生の不足分を補っていますが、慢性的に人員不足であります。

ぼかぼか教室では、エアコンの設置がなく、現在は校長室を臨時のぼかぼか教室として代用されています。校長先生は職員室で、ほかの教職と共に職務されています。安全で安定した学校環境が築けるよう、早期な対策、対応を考えていただきたいと切に思いました。

続いて質問です。例年行われている、コミュニティ・スクール学校運営協議会の正副会長と教育長との面談が行われますが、面談結果は、どこで評価反映されていくのか教えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

赤羽教育長 面談はしてはしまして、部長、課長を通して課に行くような形で、施設とかそういうものは、要望を伝えています。

関連してありますか。

五味教育施設課長 吉田小学校のぼかぼか教室、スペシャルサポートルームと思いますが、学校からもエアコン整備の要望をいただきまして、市内全般ですけれども、特別教室等を一括して整備をしていく段取りがつかしました。今年は無理ですが、来年度、工事に向けてこれからやっていきたいと考えております。

八島委員 校長からも、校長室が使えない現状ですので、教職員と少し距離を置きながらすべき話ができず困っているとおっしゃられていました。できるだけ校長が職務をスムーズに行える部屋を確保していただけるとありがたいと思っております。

赤羽教育長 関連してありますか。

碓井教育長職務代理者 特別教室のエアコンの設置について、今年9月に入っても記録的な暑さが続いていて、学校の特に特別教室で授業をされる先生方は本当に大変だと思います。子どもたちは1時間ないし2時間特別教室に来て、またエアコンのある部屋へ戻っていく場合も多いですので、子どもたちはある程度いいですけれども、同じところでずっと授業している、例えば技術科の先生とか、また八島委員からありましたスペシャルサポートルームで学んでいる子どもたちや教えている先生たち、その皆さんは本当に大変だと思いますので、いい方向でのお話があるようではありますが、できるだけ早く対応していただければと思います。

五味教育施設課長 昨年度のこんにちは教育委員会の方に広陵中学校に伺いまして、専科の技術の先生から切実な御意見をいただきました。こちらのほうとしても、職場環境に関してもしっかりと見ていかなければいけないと思っておりますので、先ほどの追加になってしまいますけれども、設計を来年度の予算要望に間に合わせるように進めておりますので、来年度には工事ができるように進めてまいりたいと思っております。

碓井教育長職務代理者 ぜひよろしく願いいたします。

赤羽教育長 スポーツテストのことはいいですか。ボールを投げられない子がいるという話、西小にとっても面白いロープが、地面から2階の少し上ですか、そこにリレーのバトンがあるのです。スイングしてどこまで行くかというような。それを意図的に2か所か3か所設置してあって、やるきっかけになるという。各学校様々な工夫はされていると思うので、ぜひ吉

田小に、ここまでいい話合いをしている、何か動き出せばいいかなど。

八島委員 工夫が必要かなと感じています。既存のやり方ではなくて、課題に対してどうアプローチをするのか、アイデアを出し合いながら柔軟な対応ができるとよいと感じます。ただ一つ、気になることは、集団で行っていくことが不可欠となりつつあり、多様性の子たちがそこに順応できるのか、新たな課題が追加されていく可能性も心配ではあります。学校外や自宅では子どもたち同士が外遊びをできなくなっている環境がある現状に対し、学校側の対策が、集団で解決をしていかななくてはならない。しかしそこには、集団を好まない子がいるとなると、やはりこぼれ落ちてしまう恐れがあるのかなど、拾い上げをどのようにしていくのか個と団の関係性の調律の取り方は難しいと感じます。

赤羽教育長 ありがとうございます。ほかの委員で関連してありますか。よろしいですか。

壺委員 交通安全週間の徳武委員の見守りの時間のことなのですが、多分各場所によって違うとは思いますが、西小学校でいうと、もともと何か所かに立っている方がおられて、自分もそうなのですが、最初に来る子と最後に来る子、毎日大体同じなのです。なので、最初に来る子の時間帯を教えて、最後の子が登校する時間を教えて、立ってもらっているのです。ほかのところとは少しずれているかもしれないのですが、そういう方法もあるのではないかなと感じています。

私からは3つお願いしたいことと、2つ報告があります。お願いの1つ目は、夏休み明けのぼーちの結果をこの後でもいいので教えていただきたいと思っています。

2つ目が、私の知り合いから聞いたのですが、11月12月に制服の採寸が始まると思うのですが、今年、制服の単価が12%くらい上がるということで、もともと高かった制服、ブレザーなどの単価がまた上がってしまうということが、保護者の理解を得なければいけないのと、先生たちが説明をしないといけないような場面があったりするのはなかなか難しいと思いますので、その対応を少し考えていったほうがいいのではないかと考えています。業者もブレザーのほうが高いのは分かっている、学ランとかだったらもっと安いのにという話はしているのですが、こういう流れで来てしまっているのです。今さらブレザーを学ランに替えるのはなかなか難しいのですが、何でも物価が高くなっている中で、だから制服も高くなっているのですよというような簡単な説明ではなくて、丁寧な対応をするようにしていただけたほうがいいかなと思っています。

3つ目なのですが、これはここで言うことではないかもしれませんが、先日、レザンホールに行くことがあって、レザンホールの2階の大ホールから入る扉、一番西側の扉が開閉するときキーキー鳴るので、演奏中に入る人はあまりいないのですが、たまたま何回か出入りする方がおられて、すごく耳障りというか、雑音が入ってしまうので、あれは直してもらったほうがいいのではないかと考えています。どこに言っていいか分からなくて、レザンホールへ直接かもしれないのですが、また考えてみてもらいたいと思います。

あと、報告としては、なぜレザンホールに行ったかということ、西部中学校吹奏楽部の定期演奏会が9月16日にあって、それを見に行きました。徳武委員からもぜひ来てくださいと言われていたのもありましたし、もともと何人かの先生も知り合いで、吹奏楽部にはお世話になっている部分もあり、今回が2回目の定期演奏会ということで、楽しみに行きました。そしたら、徳武委員がなぜ来てくれと言ったのかすぐに分かったのが、2部のときに徳武委

員がステージに上がっていきまして、テナーサックスを持って生徒たちと一緒に演奏していたのです。すごくカッコよくて、これを見に来いということだったのだと思いました。

生徒たちも2年連続県に選ばれて、さらにすごいのが、去年は三十何人いたのですよね。今年は18人かな。だけど、A編成で今年も出て、A編成で県に行くというのは、ものすごいことだと思って、感心して見ていました。特にパーカッションの男の子3人がすごく盛り上げていて、物まねしながら司会をしたりとか、演奏自体もすごく楽しんで、見ている僕たちがわくわくするような演奏をしてくれたなと感じ、大変いい時間を過ごさせていただきました。

西部中なのですけれど、今年9月から、地域貢献活動「孫の手プロジェクト」を始めたのですけれど、これはすごくいい取組だなと思っています。ホームページを見させてもらおうと、孫の手プロジェクト実施要綱というのをつくって、保護者とか地域の方に配っているのかな。何をやるかというのはまた見てもらえばいいのですけれども、早い話、生徒たちが地域に感謝して貢献して、そのときに地域チケットという1mag oチケットというチケットをもらえて、そのチケットで地域にあるお店、原農園とかベーカリー・スリエとか珈琲哲学とかに行くと、チケットと引き換えにブドウをもらえたりとか、アイスをもらえたりとかという、そういったことを今年からやり始めたのです。ものすごくいい取組だと思っていて、西部中すごく頑張っているなと感じて見ていました。その活動がこれからどうなっていくのか、楽しみにしています。

その「孫の手プロジェクト」の一環で、碓井教育長職務代理者が行ったひらいで遺跡まつりの1週間前に、LOCAL NIGHT PICNICというのが平出遺跡で2日間行われました。私もそこでワインを売るブースを出していたのですけれど、このイベントに西部中の子たちが十何人来てくれて、最後にランタンを飛ばすのですけれど、そのランタンを参加者に配ったりとかという手伝いをしたりとか、メッセージカードを作って渡す手伝いをしているという、そういった地域で行われるイベントとかにも積極的に参加して、自分たちの住んでいるところをアピールして手伝ってくれたのがすごく印象に残っていたので、それを紹介させていただきました。

最後なのですけれど、これは教育長にもお話しさせてもらったのですが、PTA活動の大事な一つの活動にPTA作業があります。各学校で年2回くらいはあると思うのです。運動会の前とかにやるPTA作業は特に気合いを入れてやっているのですけれど、先日、西小学校でもPTA作業がありました。多分今までで一番、ボランティアの人たちの参加人数が多かったと思うのです。それは、少年野球の保護者だったり、あとはナイターソフトの皆さんだったりとか、ボランティアの列がすごく長くて、大変いいことだと思って作業しました。

松本市のPTAを解散してしまった学校に私の弟の子どもが行っているのですけれど、PTA作業をやるというときに、ボランティアで集めましょうという形にはなっているのですが、結局、集める音頭を取る人が教職員なのです。それで、いざやるとなると、ほとんど手が挙がらなかったみたいなのです。これから運動会があるのにこれではいけないということで、少年野球の保護者を集めて、ビバーを持ってきて刈ったそうなのです。

だから、前回、市長ともお話しさせてもらったのですが、PTAは作業のためだけではないのですけれど、何か組織を動かすときに、そういう組織を残しておくことは大切なことではないかなと感じました。

赤羽教育長 ありがとうございます。関連してありますか。

徳武委員 吹奏楽定期演奏会、ありがとうございます。私は部員のお母さんに誘っていただいて、OGとして1曲出ささせていただきました。全体で7人か8人、地域の方とOB、OG含めて出たのですけれど、卒業生が半分、おそらく高校生ですね、それから大人が4人でしたか、大人の参加というのも、学校で作ったチラシに、一緒に演奏する方を募集しますというコメントが載せてあって、それを見て応募したという方もいらっしゃいました。

こういう活動も地域と共にある学校なのかなというのはすごく感じました。何十年ぶりにレザンホールの大きいステージに乗せていただいて本当に緊張したし、私はすごくいい経験をさせてもらったと思っています。生徒の皆さんにもとてもよくしていただいて、席はこちらです、楽譜はこれですと、本当に一生懸命やっているのを目の当たりにして、ぜひ来年もと思ったのですけれども、なかなかそこが、今度、地域移行が絡んできて、若干難しい面があるということを聞いています。学校の体育館でもいいです。何か継続できればとは思っています。

それから、「孫の手プロジェクト」のお話なのですが、夏休みからスタートして、もう何度も企画がありまして、夏休みの子どもの学習ひろば、そこからスタートしていたということなのですが、先月はブドウの収穫をしたと聞いていますし、それから今お話のあったLOCAL NIGHT PICNIC、来月には地区の文化祭のお手伝いがあるということを知っています。先生方も一生懸命されていて、家庭へのお便りはもちろんなのですけれども、地域で回覧板を回しまして、お困りごとはありませんかということで、それこそ家の草取りから何でもいいですので、そういったこともやるのでぜひ御連絡くださいという回覧板も出ていましたので、周知されて申込みがあればいいなとは思っています。また学校で話を聞いてみたいなと思っています。

赤羽教育長 先ほどお願いということであったのですけれど、何か答えられることはありますか。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） レザンホールの指定管理に際しまして、担当課は私どもでございます。施設の老朽化ですとか、建設してからもう30年近くたつてくる中で、御指摘の点も含めて、レザンホールから施設の整備が必要な要望がかなりの件数上がってきております。優先順位に応じて対応していくということでございます。

指定管理の条件としましては、100万円を線引きしまして、100万円を超えるものについては市が負担する。100万円を下回るものについては指定管理料の収入の中で事業団が行うということになってはいますが、施設全体の大規模改修の必要性について、今年度、専門業者を入れて調査等、それから大規模改修工事に向けて、また、天井の耐震化工事も含めて今計画をしておりますので、その結果を踏まえて、来年度以降工事の具体化をしていくということになっておりますので、御指摘のものも含めまして対応してまいりますのでよろしくお願ひします。

上條学校教育課長 まず、ぼーちの関係ですけれども、まだ最新のデータ等が整っていないものですから、この後の協議会のほうもお示しできないかもしれませんので、整い次第、御報告をさせていただきたいと思ひます。

あと、制服の価格高騰についても、直接、私も業者の方から伺っておりますので、また校長会とお話しする中で、保護者の負担にはなってしまうのですけれども、周知の仕方ですと

か、そういったところの対応については、お話のほうをしていきたいと考えております。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

養委員 ぼーちについては、特に夏休み明けだったので、どういうデータが出るのか、すごく心配を含めて、またしっかりとしたデータを教えてください。

碓井教育長職務代理者 別の点で2点お願いいたします。1点目は、学校給食についてであります。先ほど養委員から制服の価格がアップするというお話もありましたけれども、主食の米の値段が高騰している状況があるわけで、一時はスーパーに品物自体がないと、そんなこともありました。現在、学校給食は、週4回は米飯になっているかと思えますけれども、大丈夫なんでしょうかという点。それから、物価が全般に上がっている状況で、給食費についても心配になるのですけれども、その見通しというような点についてお聞きできればと思います。

それから2点目は、保育園の関係なのですけれども、最近、松本市が未満児について、子ども誰でも通園制度を11月から試行的に始めるという報道がありました。この制度は、就労要件を問わず子どもを預かる制度だということで、子どもの生育環境をよりよくすることが目的であると、そんなことがこの紙面に書いてありました。塩尻市はこういう制度を行っているのかどうかについて教えていただければと思います。以上2点です。

赤羽教育長 では、2点について、それぞれ1点ずつお願いします。

上條学校教育課長 私のほうからは給食費について、実際、お米に限らず、野菜ですとか肉関係も値上がりはしております。今それぞれの学校の栄養士、調理員が工夫して調理していただいておりますが、どうしても予算を超過する可能性が既に出てきております。年度内につきましては、その超える部分については公費負担で、保護者負担の増にならないように対応していきたいと考えています。

現在、小学校では1食300円、中学校では350円が保護者負担になります。ただし実際は、小学校が330円、中学校が380円かかっておりまして、その30円分については公費負担となっております。これは令和5年から続けており令和6年も同様でございます。

来年度以降については、市の行政評価など今後の予算査定等もある中で、保護者負担分も含めて検討はしていきたいと考えております。担当部署としては、極力高騰分については引き続き公費負担としたい考えはありますけれども、市と予算との絡みも関係してまいりますので、その中で検討していきたいと考えております。

碓井教育長職務代理者 物価などが本当に上がっていて、献立とか栄養面も含めて給食関係の方は御苦労されているかなと思います。また、今お話にあったように、現在、市から給食への補助を頂いているわけでありましてけれども、今後も家計への負担があまり増えないような対応をお願いできればと思います。

赤羽教育長 では続けて、保育園関係、お願いします。

塩原保育課長 誰でも通園制度の関係につきましては、国からは令和8年度から本格実施ということが示されております。本市の場合は、それに向けまして、本年度ですと、先ほどの松本市がこれから試行という形でありますけれども、そのほかに長野市や飯田市でも今試行的に行われていますので、他自治体の情報収集を行いながら本格実施に向けて準備をしていきたいと考えております。

碓井教育長職務代理者 未満児を保育園に預けるということについては、様々な意見があるか

と思いますけれども、私は、こういう制度も子育て世帯の支援、子どもや保護者への支援になると感じています。というのも、私の子どもにも未満児がいて、つまり私にとっては孫になるのですが、その子を片丘保育園に預けたことがありました。そのとき私も保育園のお迎えをしたわけですが、孫の様子を見ていて、保育園の先生方や集団の中で活動することによって学ぶことが結構あったというふうに感じました。今も他市町村の実践も参考にして、この制度に向けてというお話がありましたので、その辺も生かして、ぜひ早く前向きにやっていただければと思います。

また、そこから少し発展するわけですが、子育て世帯、特に多数派を占める共働き世帯への支援として、児童館・児童クラブの充実、それから小1の壁と言われる問題への対応、養委員からもありましたが、先月の総合教育会議で市長からお話のあったPTAの課題について、PTAは任意団体ではあるのですが、そうは言っても子育て、教育には大事な団体でありますので、どうアドバイスできるか等についても考えていくべき内容だと思います。

赤羽教育長 ありがとうございます。ほか、皆さんよろしいでしょうか。ありがとうございました。

○報告第1号 主な行事等報告について

赤羽教育長 それでは、報告第1号のほうに行きたいと思います。主な行事等報告についてお願いいたします。資料は1ページから7ページです。事務局から主要な行事について説明をお願いします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） 私からは図書館と市民交流センターの行事報告をさせていただきます。1ページを御覧ください。

信州しおじり本の寺子屋は、この期間内に3回開催いたしました。8月6日、青木いづ美さんによる学校職員向けの講座を開催。8月11日には、伊藤純郎さんの講演会を北部交流センターで開催。総務人事課行政係の「平和祈念のつどい」、広丘公民館主催の「広丘地区平和学習」と共同で「平和を考えるつどい」として開催いたしました。

9月8日には三浦英之さんによる講演会。新聞記者の生の声を聞いていただくことができました。ともに多くの参加をいただきました。

市民交流センターにつきましては、5ページをご覧ください。壁柱利用促進事業ということで、中村聡絵画展を開催いたしました。市民交流センターで3階の市民サロンの壁柱は、有料ですが、市民の方たちにも予約して使っていただくことができます。市内に美術館のない塩尻市でも、そういった芸術鑑賞ができる場として、壁柱の活用方法の提案をするために絵画展を行いました。

その下の段、塩尻市観光情報シアター上映は、塩尻市観光情報のDVD映像を朝9時から17時まで、プロジェクターで投影をさせていただいて、近くに観光情報のパンフレットやチラシ等を設置してPRをいたしました。二、三日でパンフレットを補充する時もあり、かなりの方に利用していただいております。

6ページにまいりまして、7月27日から9月1日にチロルの森が期間限定でトライアル営業をした際に、出張図書館を行いました。休憩ができるような居場所として、読書だけでなく塗り絵や折り紙を用意して、子どもたちだけでなく大人にも楽しんでいただきました。約

1,800 人の方の来館をいただいております。

それに合わせまして、市民交流センターで8月12日、31日、9月1日と「おでかけえんぱーく in チロルの森」を開催し、シャボン玉ブースや、メッセージカード作りを行いました。約250名の方が参加をいただきました。私からは以上となります。

赤羽教育長 続けてお願いします。

古畑文化財課長 私からは、2ページをお願いいたします。上段の短歌館の行事でございますが、広丘夏まつりに合わせて行っております灯籠短歌大会、第8回を数えます。本年は、当日は大雨により残念なところにはなりましたが、事前に募集をした短歌について選考をし、表彰と、あとは志学館高校の生徒による灯籠への揮毫ということで、8回目を数えて定着をしております。

続きまして、3ページをお願いいたします。3ページの下段で、自然博物館の特別企画展でございますけれども、「夏休みの昆虫展・昆虫の写真展」ということで、夏休み期間中、7月20日から8月25日に開催をいたしましたら、参加者が約3,200人ということで、夏休み期間中ということで県外からも参加者が大勢来ていただいております。自然博物館につきましては、昨年度の小坂田公園のリニューアルに伴いまして、博物館への入館者も増えておりまして、その前の年、令和4年に比べて令和5年は5,000人ほど増えて1万3,000人を超えております。なお、今年度につきましても、8月末で1万人を超えている参加者があるということで、かなり相乗効果が上がっているということで、今後もそういったところに注力して、企画展等を開催してまいりたいと思っております。

そのほかにつきましては、4ページ下段の短歌館の書道展、こちらも恒例の行事ではありますがけれども、市内の3校の高校書道部からの出展をいただいております。

そのほかには、7ページの上段、短歌大学ということで、本年度第3回目ということで、今回は初めてお招きをしました大辻隆弘さんを講師ということでお迎えをして、非常にユーモアあふれる内容ということで大変好評だったため、また引き続きお願いしたいというような声が上がっております。私からは以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 3ページ上段を御覧ください。7月24日から8月23日とありますけれども、市内小中学校の夏休みの期間に子どもたちの居場所づくりということで、中央公民館と地区公民館の主事が連携をいたしまして実施したものの概要を記載してあります。中央・各地区公民館で体験講座、それから、学習ひろばという勉強する場所の提供などです。サマースクール公民館、これはえんてらすと総合文化センターを会場にしまして、今年度28講座に講座を増やしまして、小中高校生を対象ですが、参加者は主に小学生で延べ356人の参加がありました。また、6地区館での学習ひろばでは、昼を挟む日に昼食の提供を行いまして、子どもたちの居場所を確保したということで、全体で2,000人近い参加がありましたので報告をいたします。

次に、7ページを御覧ください。9月8日に市民音楽祭コーラス発表、これは市民音楽祭を3回に分けて開催するものの1つでございますが、コーラス発表では、市内の12のコーラスグループがレザンホール大ホールで1日かけてコーラスを楽しんでいただき、約650人の参加がございました。市民音楽祭の今年度最後の機会としまして、バンド発表の部

が今週の土曜日、日曜日の午後、総合文化センター講堂で開催されますので、御都合がつけばぜひ御観覧ください。私からは以上です。

赤羽教育長 それでは、委員の皆様から御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

碓井教育長職務代理者 3ページの夏休み期間における各公民館の取組についてなのですが、学校やPTAの活動がどちらかというと縮小してきている中で、各公民館のこのような活動はとてありがたい取組であると思っております。今後もぜひ充実させていっていただければと思います。

ただ、こういう催しに参加できる子はいいのですけれども、参加したほうが良いと思われ
る子が来られない場合もあるのではないかと、そのようなことも思われて少し心配になる
というか、そのような子たちも来てくれるようになるといいなと思います。

質問なのですが、学習ひろばでの昼食等の無償提供についてですけれども、費用は6地区
館とも公民館から出ているというように考えていいのでしょうか。そして、今後も無償提供
は大丈夫なんでしょうかというような点について教えていただければと思います。

それから2つ目、7ページにある9月8日の市民音楽祭コーラス発表の部について、私、
当日発表を聴かせていただきました。お子さんから大人の方まで、様々なグループの発表を
お聴きして、良い時間を過ごすことができました。今お話をお聞きすると、約650人という
方が参加されたということですが、本当に席も大分埋まっていて、大勢の方が参加さ
れたと思います。来場者の方は大人がやはり多かったと思いますけれども、身近な文化・芸
術を味わえる場ですので、小中学生がもっといてもいいのかなというようなことを思いま
した。とても暑い日でしたけれども、会場は空調が効いていて、とても快適に発表を聞くこ
うことができました。

赤羽教育長 ありがとうございます。では、質問がありましたので。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 昼食提供につきましては、趣旨としては子ども
の貧困対策というようなことも視野に入れて行っているものでございまして、カレーを作
って提供するというのが主だったと聞いております。基本的には、現段階では各地区が公民
館の予算で対応しているというものでございます。これは、今後拡大するとすると、その予
算の確保ということが必要になってまいりますので、そのニーズと状況、あるいは地区館で
の開催、今のところ、まだ部分的に開催をしておりますので、開催の拡大が必要なのか、で
きるのかということをお聞きして、予算の対応が必要であれば考えていきたいと思ってい
ます。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。

赤羽教育長 そのほか御質問ございますか。

徳武委員 私もこのコーラスを見にいつてきたのですが、出演している方からすれば、発
表する場を持つということがモチベーションにとってもすごく大事だと思っていて、私も半
分ぐらい聞いたかな、たくさんの方が来ていまして、すごくよかったです。

1つお伺いしたいのは、このコーラス発表と、その前にあった7月にあった楽器の発表、
それから来週あるバンドの発表、この日程が少しずつずれているというのは、何か理由があ
るのですか。ひょっとしたら、同じ月にあったらもっといいのにといい思いがあったりもし
たのですが、レザンホールの都合というのももちろんあるでしょうけれど、その辺の日
の設定の件についてお伺いしたいと思います。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） これにつきましては、市民音楽祭実行委員会という、要するに各部門で活動している団体の代表の皆さんを中心に、そこに市から委託料をお支払いして、市民主体のイベントということで開催をしております、それぞれの部門ごとでその時期を設定して開催しているというものでございます。

徳武委員 分かりました。バンドだけは総合文化センターなのは、何か理由があるのでしょうか。レザンホールではないのですか。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 明日来ていただくと分かるかと思うのですが、バンドの場合は、専用の機材を調達しまして、レザンホールの舞台での発表よりは講堂の空間での発表のほうがより好ましいというようなこともありまして、実行委員会で会場の設定をしているということでございます。

徳武委員 分かりました。ありがとうございます。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。そのほか、ございますか。

八島委員 夏休みの企画における各公民館で取組まれたサマースクールですが、学習のひろばで、体験学習は6地区館が参画されておられたご様子ですが、参加をしない地区館は、それぞれご都合があったと思いますが、不参加となった理由がはどのようなものですか。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 今年度で行きますと、地区館でいきますと8地区館でいずれかの開催をしております。学習ひろばだけのところがあれば講座だけのところもあり、地区公民館の考え方を尊重しているということもあり、地域差が出ているという状況でございます。

八島委員 分かりました。ありがとうございます。

赤羽教育長 よろしいですか。そのほかはよろしいでしょうか。

ありがとうございます。ないようですので、次に進みます。

○報告第2号 10月の行事予定等について

赤羽教育長 続いて報告第2号、10月の行事予定についてお願いします。資料8ページでございます。皆さん全員に関わるものとして、15日の御野立記念祭、24日の定例教育委員会・協議会、それから25日に長野県市町村教育委員会研修総会がありますので、皆様の御出席をお願いいたします。見ていただきまして、御質問がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。では、次に進みたいと思います。

○報告第3号 後援・共催について

赤羽教育長 続きまして報告第3号、後援・共催についてですが、資料9ページ、10ページでございます。見ていただきまして、何かありましたらお願いいたします。

壘委員 33番と35番なのですが、申請者は県外の申請者になっています。35番については、団体の申請者、開催場所、事業の名称等は整合性が取れているなど思っているのですが、33番の申請者と団体の名称、事業の名称等は、私のほうで調べられなかったのですが、分かれば、この団体について教えていただきたいなと思います。

上條学校教育課長 33番のヒューマンアカデミー株式会社につきましては、住所に書いてありますとおり、新宿にある株式会社となっております。事業の目的につきましては、低年齢のうちに科学体験をすることで子どもたちの科学に対する興味を引き出したいという趣旨に

なっております。会社自体は 30 年余りにわたって全国で教育サービスを展開している会社となっております。特に IT 関連の教育につきましては、これまで講座約 50 種類を超えることを全国的に行っており、全国では約 140 以上の都市で、このような取組をやっているという会社となっております。

それから、35 番になります。NPO 法人になりますが、宮城復興支援センターという団体になります。東震災のあったところで立ち上がった組織という状況になっておりまして、当初目的は、東震災の仮設住宅入居児童、避難所入居者やコロナにおける子どもの心のケアを支援の一つという活動をしておりますが、現在は新しい支援の形が必要ではないかということで、どのような支援の形があるかということを探索する中で、国際交流無償出前授業というものを関東で実施していると、このような団体となっております。

審委員 申請者の代表者というのは、別に代表取締役ではないという理解でいいですか。

上條学校教育課長 例えば代表取締役に限らず、申請段階で担当者が代表ということも可能となっております。

審委員 このビルの 2 階と書いてありますが、これは多分空き店舗だと思うのですが、たまたま、ちょうどその日に前を通ったので見たのですけれど、何か別に開催している雰囲気はなかったもので、例えばこの開催期間の申込みの期間中にやるという理解でいいですか。特定の日に、この日にやるという申請ではなくて、申請期間に出している期間中にやったらオーケーという理解ですか。

上條学校教育課長 具体的に日の指定まではありません。9 月 21 日から 11 月 9 日まで全 12 回開催となっておりますので、恐らく週末に開催をしているものと推察します。基本的には、この期間の中で開催をすればいいという形にはなっております。

審委員 12 回というのは、申請されているのですね。

上條学校教育課長 こちらへの申請については、12 回開催するという形になっております。

審委員 それは、日にちの指定があつてですか。

上條学校教育課長 指定はないです。この期間の間で 12 回という形になっております。

審委員 分かりました。

赤羽教育長 やっていなかったですか。

審委員 やっていないというか、本当にやるのかなという感じで、「にゅうよくざいをつくってロケットをとばそう」という題なので、そんなに短期間でできるとは思わないので、シリーズなのか、何だろうなと思ったのですけれど、入浴剤を使ってだったら分かるのですけれど、作ってというのはすごいなと思って、少し疑問に思ったので、以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。そのほか、ございますか。

碓井教育長職務代理者 9 ページの 84 番の令和 6 年度市民体力向上事業（塩尻市武道大会）についてです。確認なのですが、事業の名前を見ると、何か市の事業のような感じがするのですけれども、これはスポーツ協会が独自で市民体力向上事業というのをやられていて、その一つとして武道大会をやるという理解でよろしいでしょうか。

上條学校教育課長 協議会のほうで回答いたします。

赤羽教育長 よろしく申し上げます。

そのほか、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、本日予定されていた案件は以上です。そのほか、委員の皆様から何かありまし

たらお願いいたします。よろしいでしょうか。

では、事務局から連絡はありますか。

竹中子ども教育部次長（子ども未来課長） 机上に資料を配らせていただきました。前回の教育委員会の中で、甕委員のほうから「しおじり子ども・若者いけんひろば」についてお問合せをいただきました。そのときはまだ、大人の観覧について不確定な部分がありましたので、今日回答させていただきます。

こちらは、メンバー募集のチラシです。直近では9月29日日曜日に、今度の週末ですが、保健福祉センター3階市民交流室で午後3時から行われる予定であります。全3回ありまして、第2回が10月、第3回が11月となっております。定員は御覧のとおり、おおむね15人となっておりますが、今のところ8人ということで、少ない状態であります。まだ期限がありますので、もし参加される子がいたら御紹介いただければ幸いに存じます。

「いけんひろば」の流れですが、右側に子どもに分かりやすく①から④まで、このような流れと解説をつけてありますし、裏面の下のところに写真をつけてありますが、これは国のほうで行われている同様の「いけんひろば」の様子ですけれども、このような形でグループワーク、2つのテーブルに分かれてやるようなイメージですが、何せ子ども8人ですから、4人ぐらいずつのテーブルになります。

前回お話しさせていただいたように、大人の観覧が多いと、子どもが萎縮してしまったりすることも考えられますので、大人の方については御案内をしておりますが、教育委員につきましては、御覧いただき、御感想をいただければと思いましたが、今日お持ちしました。全3回ありますので、1回ぐらいは来ていただければ幸いに存じます。

なお、子どもについては、意見が出しやすい環境ですとか、あと肖像権の関係でNGの方もいますので、写真撮影はお控えいただきたいと思っておりますし、子どもの意見を出す環境を優先するあまり、大人については少し聞き取りづらい場所で観覧いただくような形になるかもしれませんので、その点、見せるための会議ではなく、子どもたちから意見を引き出すための会ということで御理解いただきたいと思っております。

また、第2回、10月20日の場所ですけれども、今のところ、予定としては保健福祉センターとなっておりますが、今、テーマの調整をすすめておりまして、core塩尻になるかもしれません。ホームページは変更いたしますけれども、もし参加されるようでしたら、お問合せいただければ御案内できますので、よろしくお願いいたします。私からは以上です。

赤羽教育長 この件に関しまして何かありますか。よろしいでしょうか。

邪魔にならないようにということで、こんなことしたら話合いにならないですからね。ありがとうございます。

4 閉会

赤羽教育長 それでは、以上をもちまして、9月定例教育委員会を閉会といたします。皆さん、ありがとうございました。

○ 午後3時10分に閉会する。

以上

令和6年10月24日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 学 校 教 育 課
教 育 企 画 係 長
